

とちぎ夢大地応援団活動報告（10月19日実施）

「那須烏山市 大木須地区」

国蝶・オオムラサキの生息地として知られる那須烏山市大木須地区のとちぎ夢大地応援団活動が10月19日、応援団員32名、地元里山大木須を愛する会（堀江一慰会長）の会員20名の合計52名が参加して開かれ、地区内の遊休農地3ヵ所の草刈りを行いました。

開会式では、大谷那須烏山市長が出席し「日本の里山の原風景を維持継承していくため、皆さんの応援はありがたい。これからもご支援をよろしく」と歓迎のあいさつを述べました。

この日参加した応援団員は栃木県農政部職員13名、ボランティア組織ナルク栃木の会員10名などで、秋晴れのもと約80aの遊休農地の草刈りに汗を流しました。

作業後の昼食には、宇都宮大学で育成し当地で生産された米「ゆうだい21」のおにぎりやサトイモの煮物などが振る舞われ、参加者は舌鼓を打っていました。

また、交流会では参加者から「美しい自然環境を維持していく大変さを改めて実感した」といった感想が語られ、最後に堀江会長からボランティアへのお礼が述べられ閉会しました。



開会式



歓迎のあいさつを述べる大谷市長



草刈りに汗を流す応援団員



後方の家屋は来年5月オープン予定の古民家（宿泊体験交流施設）です



オオムラサキ公園内の特設テーブルで昼食



応援団員と地元の人たちとの交流会

